

学校教育目標 「進んで学ぶ子・心の豊かな子・明るく元気な子」



狹山小だより

「誰からも信頼される、明るく元気な学校」

令和7年度
第10号
1月29日発行
児童数335名
TEL 04(2934)2077

「時を守り、場を清め、礼を正す。」
～当たり前のことを当たり前に。～

校長 田島 浩



*どうございました。子供たちが頑張っている姿を参観していただけたことに感謝申し上げます。また3校時には、2回目の健康委員会を開催いたしました。埼玉西ヤクルト販売株式会社の方を講師にお招きし、「早ね・早起き・朝ごはん・朝うんち」と題し、便から学ぶ子供の健康についてご講演いただきました。

さて、先日ある建築現場に立て看板があり「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉が目に飛び込んできました。とても懐かしい言葉で、私が教員としてスタートした学校の校長室に掲示してありました。これは、哲学者・教育者である森信三（もりしんぞう）氏の言葉です。この言葉は、教育現場はもとより、企業理念や社会人教育など多方面で活用されているので、ご存じの方も多いことでしょう。ご説明いたします。



時を守り 「時間や期限を守ること」ということです。決められた時間や期限までには準備をし、きたるべき時に備えて心を静めて開始を待つということです。時を守る先には、必ず相手がいます。自らが時を守ることで、相手を尊重することにつながります。

場を清め 「整理整頓をし、掃除すること」ということです。掃除するとの意味は、5Kで表され、①気づく人になれる ②心を磨く ③謙虚になれる ④感動する心を育む ⑤感謝の心が芽生える、とのことです。整理整頓や掃除は、他人を敬い、奉仕の心につながります。

礼を正す 「あいさつをする、返事をする」ということです。率先して相手よりも先にあいさつし、相手が気持ちよく受け取ってくれるあいさつこそが、その相手に対する礼節につながります。

毎日の学校生活の中には、いろいろなできごとや様々な場面があります。当たり前のこと当たり前に続けることが、とても大切です。2月はあっという間に「逃げて」しますが、その一つ一つを一生懸命にやり抜こうと努力する子供たちを育ててまいります。

1月の学校生活

2月の生活目標「安全に気をつけて生活しよう」

【校長室会食（6年）】1月13日（月）～

間もなく卒業する6年生と一緒に、校長室で給食を食べています。小学校生活の思い出にするとともに、中学校生活に向けてエールを送るために行っています。ふだん入ることがない校長室ですので、初めは子供たちは緊張していますがすぐに慣れ、思い出話や部活動のことなどを話してくれます。あっという間に時間が過ぎてしまいます。子供一人一人から話が聞けて、私にとっても有意義な時間になっています。



【給食に感謝する会】1月20日（火）



給食委員会が中心になって、児童朝会「給食に感謝する会」を行いました。代表児童による感謝の言葉や給食献立コンクールの発表、手紙やカレンダーのプレゼント渡しがありました。暑い日でも寒い日でもいつもおいしい給食を作ってくださる栄養士さんや調理員さんに、みんなが感謝をしています。狹山小の給食はとてもおいしいので、毎日ほぼ残菜「ゼロ」に近いです。

【博物館授業（3年）】1月20日（火）

「むかしのくらしと道具展」を見学しました。昔の食生活や昔の小学生を紹介するコーナーの他、常設展示室「入間の歴史」では昭和初期・昭和40年頃の家庭の様子を再現しています。子供たちは着物を着たりだるま落として遊んだりして、十分に楽しんでいました。2月15日（日）まで開催中。



【みそ作り（5年）】1月22日（木）～24日（土）



加藤ファームの加藤さんにご指導いただき、3日間かけてみそ作りをしました。1学期のうちから5年生は稲や大豆を育て、それらを使いながらみそ作りをするので、約1年間かけています。保護者ボランティアの力を借りながら様々な工程を経て、最後に丸めて樽に入れました。でき上がりは卒業する直前、来年の3学期です。子供たちが作った「みそ」のおいしさに、いつも驚かされています。

狹山小学校のHPにある「校長のひとり言」を再開しましたので、ご覧ください。ほぼ毎日更新し、子供たちの学校生活の様子をお伝えしています。